

もりおか女性センター フェスティバル2025

無料 映画会

戦後80年—
今年度のテーマは「戦争と性暴力」



©テレビ朝日

戦争と性暴力の事実、いま知るべきことがここに在る

なかったことにはできない

上野 千鶴子さん 推薦

『黒川の女たち』

9月13日(土) ※詳細は裏面

会 場： おでってホール (プラザおでって3階)

定 員： 各回 100 人

入場料： 無料

申 込： 8月22日(金) 10時から

もりおか女性センターHPの申込フォームまたは、
電話 019-604-3303にて先着順に受付



展示

もりおか女性センター利用団体活動紹介・女性起業家事業紹介

〔主催〕 盛岡市、もりおか女性センター

〔共催〕 もりおか女性の会

〔後援〕 岩手県、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、河北新報社、岩手日報社、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、株式会社テレビ岩手、めんこいテレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、情報紙ゆうゆう、公益財団法人盛岡国際交流協会、盛岡市肴町商店街振興組合

【上映スケジュール】 ※1日2回上映

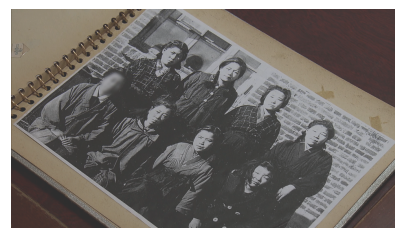
10:30 ~ オープニングセレモニー

10:40 ~ 12:20 映画上映（1回目）

14:00 ~ 15:40 映画上映（2回目）

上映後には、
今回のために特別収録をした
上野千鶴子さん
メッセージ動画をお届けします！
お楽しみに♪

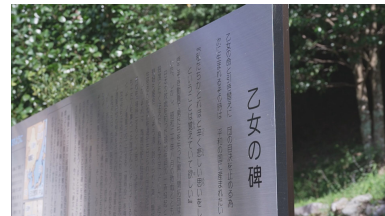
戦争の事実に向け、
風化させないために記憶と歴史を見つめ直し、
「平和」について考える機会を—



【上映作品紹介】

『黒川の女たち』

(2025 | 日本 | 99分 | ドキュメンタリー | 監督：松原文枝)



なかったことにはできない

80年前の戦時下、国策のもと実施された満蒙開拓により、中国はるか満洲の地に渡った開拓団。日本の敗戦が色濃くなる中、突如としてソ連軍が満洲に侵攻した。守ってくれるはずの関東軍の姿もなく満蒙開拓団は過酷な状況に追い込まれ、集団自決を選択した開拓団もあれば、逃げ続けた末に息絶えた人も多かった。そんな中、岐阜県から渡った黒川開拓団の人々は生きて日本に帰るために、敵であるソ連軍に助けを求めた。しかしその見返りは、数えて18歳以上の女性たちによる接待だった。接待の意味すらわからないまま、女性たちは性の相手として差し出されたのだ。帰国後、女性たちを待っていたのは労いではなく、差別と偏見の目。節操のない誹謗中傷。同情から口を塞ぐ村の人々。込み上げる怒りと恐怖を抑え、身をひそめる女性たち。青春の時を過ごすはずだった行先は、多くの犠牲を出し今はどこにも存在しない国。身も心も傷を負った女性たちの声はかき消され、この事実は長年伏せられてきた。だが、黒川の女性たちは手を携えた。したこと、されたこと、みてきたこと。幾重にも重なる加害の事実と、犠牲の史実を封印させないために—。

【展示】 期間：9月12日(金)～9月19日(金) 9:00～21:30

※土日祝 17時まで 最終日は16時まで

①もりおか女性センター利用団体活動紹介

場所：プラザおでって5階

普段どんな活動や事業を行っているのかをご覧ください！仲間を募集している団体さんも♪
みなさんも市民活動に参加してみませんか？

②起業応援ルーム「芽でるネット」利用の女性起業家事業紹介

場所：プラザおでって1階

【問い合わせ】 もりおか女性センター

〔住 所〕 〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって5F

〔電 話〕 019-604-3303 [HP] <http://mjc.sankaku-npo.jp> [メール] mjc@sankaku-npo.jp

もりおか女性センター
25th
anniversary